

今月のテーマ | 下水からウイルス感染状況が見える？

下水には生活排水、人の糞尿、雨水などいろいろなものが流れ込んでいきます。私たちが食中毒や感染症にかかった場合、それに起因するウイルスなども排泄され下水に入って処理後、海に放出されます。最近、新型コロナ感染も少し落ち着きましたが、その感染状況が下水サーベイランスでもわかるというのです。



下水サーベイランスから読み取れること

新型コロナも感染症法の分類が2類から5類に変更になり、インフルエンザなどと同様の対応となり、従来の感染者全員の把握から定点把握に変わってきています。傾向はわかりませんが全体の実数はつかみにくい状況です。そんな中、下水サーベイランスが注目を集めています。下水サーベイランスとは、周辺住民から排泄される糞尿が入る下水中の各種ウイルスを検査して、感染状況の推移をみることです。右下の図は札幌市での調査データです。

2023年5月からは全数把握が終了しているので棒グラフがありません。昨年5月までの感染者数と下水中ウイルス量がよく一致していることがわかります。感染者数がピークの部分は下水サーベイランスのウイルス量が高い値になっていますが、実際にはもっと多くの感染者がいることの反映かもしれません。2023年5月以降も実数はわかりませんが感染状況の推移を下水サーベイランスから知ることができ、有用な方法として注目されています。インフルエンザウイルスについても同時に検査されており、定点観測数の増加とよく一致した傾向が得られており、現状の感染状況を知る重要な手段となっています。

しかし、「大雨で水量が増えて希釈されたらどうするの？」

など素朴な疑問があるでしょう。ピーマンやシトウ等にモザイク病を引き起こす「植物ウイルス・トウガラシ微斑ウイルス(PMMoV)」は、ヒトが摂取すると糞便に多量のPMMoVが排泄されることが知られており、また、生活排水中に動物・植物ウイルスの中でも最も安定した濃度で存在します。新型コロナCOVID19と同時に測定して、雨などによる希釈などを補正することができ、感染状況の継続的推移をみることに役立っています。

定点観測の感染者数調査は少し時間がかかりますが、下水サーベイランスならばリアルタイムで状況を知ることができる優れたものですね。



新商品

コープみえ松阪センターの組合員の皆さんと商品検討した商品 『まるで生のり佃煮』が3月3週にデビューしました!

使用する原料や食味、包材デザインなどを組合員が検討しました。パッケージ記載のキャッチコピー「いろいろ使えるに」は、組合員の皆さんのアイデアで決まりました。



- 三重県産の良質な素干しのりを使用し、生のりのような食味に炊き上げたのり佃煮です。
- なめらかさの中にもしかりと歯ごたえのある食感が特徴です。箸、スプーンで取り出しやすい点もポイントです。
- 着色料、増粘多糖類を使用せず、素材を生かした味わいに仕上げました。
- パッケージデザインにもこだわり、商品特徴をわかりやすくしています。

まるで生のり佃煮 100g
本体価格 398円
税込価格 429円
次回予定 4月2週



わたしのひとこと

我が家には甘夏とキンカンがあります。甘夏は3月に入ってから採り、家族3軒で分けます。皆が楽しみにしていますが、時々玄関の門扉の側に落ちていることもあります。今年は暖冬と言われますがそのせいでしょうか。(90代/岐阜市 メロディさん)

健康講座

今月の先生紹介

かねだ まさひろ 氏
金田眼科クリニック 院長



今月のテーマ 糖尿病と目



糖尿病と目って関係あるの？

糖尿病は高血糖が慢性的に続く病気、身体中の細かな血管が障害され様々な合併症が生じる病気です。代表的なものは網膜症、腎症、神経症で3大合併症と呼ばれています。糖尿病網膜症は、物を見る大事な神経細胞がつまっている網膜の血管が障害され、出血や血管が詰まってしまい最悪の場合は失明に繋がる病気です。毎年約3,000人もの方が糖尿病網膜症のために失明しているとされています。また、網膜の中心部(黄斑と呼ばれます)に水が溜まって腫れてくる黄斑浮腫が生じることも多く、これも視力障害を起こす原因になります。



● 進行した糖尿病網膜症の眼底写真

網膜に出血や白斑が多数見られます。

それ以外にも何か問題は？

網膜症以外にもいろいろな問題を起こします。①水晶体が濁る糖尿病性白内障②目の動きが悪くなり、左右の目の動きが合わなくなって物がダブって見えるようになる眼球運動障害③目の表面にある角膜に傷ができる角膜症④眼の屈折度が変わったりピントを合わせにくくなる屈折・調節異常⑤眼内に炎症を起こす虹彩毛様体炎⑥目の中の水を眼外に排出する排出路に異常血管が生

じて、眼圧が上昇する血管新生緑内障⑦視神経を栄養する血管が突然閉塞して視野障害や失明に至ることもある虚血性視神経症など多くの合併症が生じることがあります。

糖尿病と言われたら どうしたらいいのでしょうか？

今は糖尿病と診断されたらその時点で眼科を受診することが常識になっています。「何も自覚症状が無いし、よく見えているから問題ないでしょう」と思ったら大間違いです。網膜症のために自覚症状が出てくるのは、網膜症がかなり進行してからになります。まずは眼科を受診していただき、網膜症をはじめ他の合併症が無いかチェックを受けて下さい。その後は合併症の有無、糖尿病の状態によって受診間隔は変わりますが、定期的に眼底検査を受けることが必要です。

網膜症が出たら どんな治療が必要になりますか？

当然のことながら糖尿病の管理が一番大切です。ただ注意していただきたいのは、急激な血糖コントロールは糖尿病網膜症を逆に悪化させることがあります。頑張り過ぎてしまうのも良くはありません。内科医、眼科医とよく相談しながら血糖コントロールを行って下さい。軽度の網膜症ならば経過観察となりますが、網膜症が進行してきたらレーザー治療を行って進行を抑制したり、黄斑浮腫に対しては抗VEGF剤と呼ばれるお薬を目の中に直接注射して腫れを引かすようにします。眼の中に大量の出血を起こした場合は硝子体手術と呼ばれる手術を行います。以前に比べ治療法が格段に進歩して失明する方は減ってきましたが、それでも助けられない方も残念ながらいらっしゃいます。糖尿病と診断されたら必ず眼科を受診して下さい。

妊娠中かつ子どもがまだ1歳なので塩分には気を付けているので、ぴったりの記事でした。いつも目分量で料理をしているので、量ることを意識したいです。(3月号健康講座:食塩について) (20代/関市 くまママさん)

わたしのひとこと

